

アジャイル初心者とアジャイル熟練者でつくる 初めてのリモートアジャイル開発の実態



2016年5月31日

インフォコム株式会社 嶋田 正彰

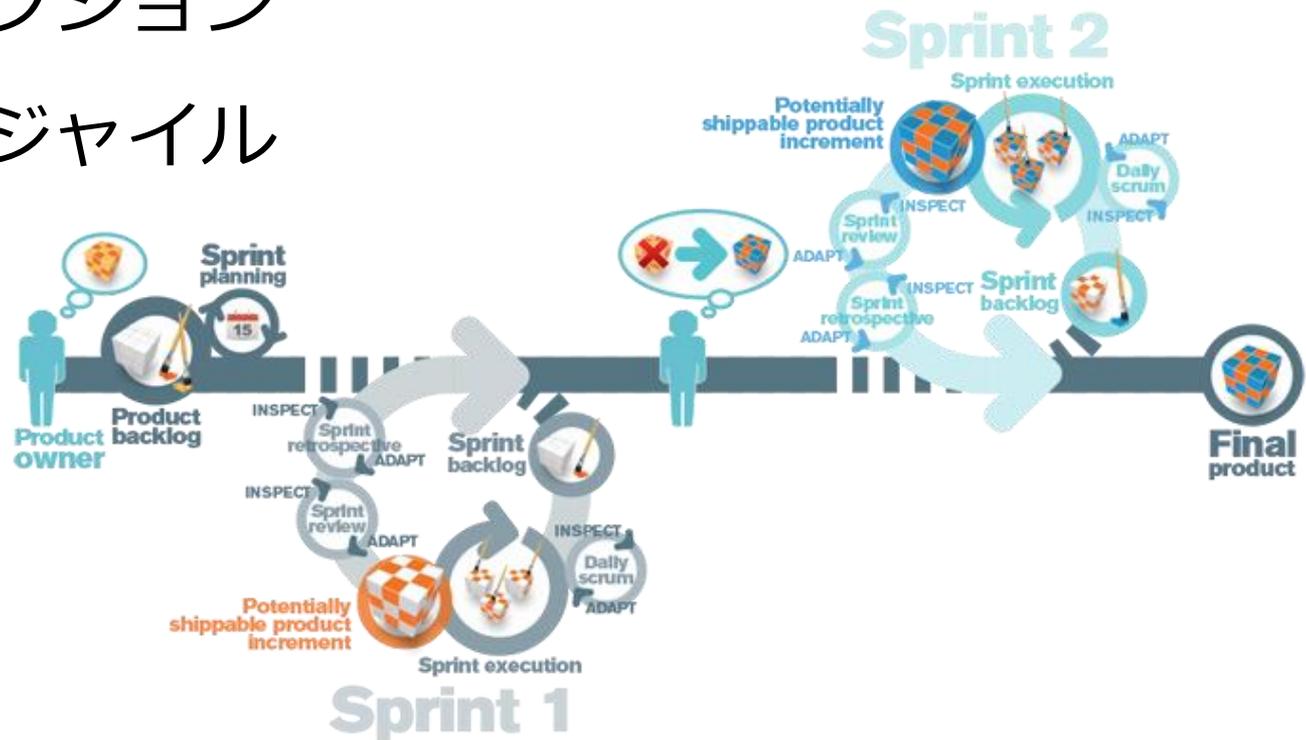
株式会社アドヴァンスト・ソフト・エンジニアリング 渡会 健

Contents



本日は対談形式でご説明させていただきます

1. 自己紹介
2. イントロダクション
3. リモートアジャイル
4. まとめ
5. 質疑応答



1. 自己紹介 (アジャイル初心者)



嶋田 正彰

✓ 構築実績

- ✓ 通信キャリア向けECサイト構築
- ✓ 同、動画コンテンツ配信システム構築
- ✓ 同、コンテンツパートナー支援サイト構築
- ✓ 帝人コーポレートサイトリニューアル
- ✓ 複合機メーカー向けグループリソース管理基盤
- ✓ 特定産業向け有料ポータルサイト リノベーション

1. 自己紹介 (アジャイル熟練者)



渡会 健

✓ 略歴

- ✓ 某工業大学機械工学科を卒業後某財閥系の宇宙分野のソフトウェア開発会社に入社。
- ✓ 最初の3年は何故か防衛系のハードウェア開発に従事。その後現JAXA（当時はNASDA)のソフトウェア開発に従事する。
- ✓ 1996年～2000年にかけてJAXAに出向し、発注側の立場でシステム開発に関わる。その時にProject Managementに興味を得る。
- ✓ 出向から復帰後は受注側としてJAXA向けのシステム開発に従事。この頃PMP資格を取得。
- ✓ 2007年1月、PMP資格を有効に生かすためにProject Managementを専門とするコンサル会社に転職。この頃にAgileに出会う。
- ✓ 2009年10月にやっぱり現場のモノづくりが恋しくなって現職へ転職。
- ✓ 現在所属会社において、Agile開発の実績を積み上げ中。Agile開発の実践者（PMの立場からの）であり実践経験だけは豊富です。
- ✓ PMI日本支部アジャイルPM研究会、アジャイルソフトウェア開発技術者検定試験コンソーシアム所属

2. イントロダクション



なぜ アジャイル？

2. イントロダクション



なぜ
リモート (ニアシヨア) ?

2. イントロダクション (なぜリモート (ニアショア) ?)



チームをアジャイルするためのコツ = 同じ仕事場で働く

-アジャイルサムライ-

著 : Jonathan Rasmusson

チームは同じ場所もしくは近距離で働く。

我々の提案としては、地理的に近距離にすべきである。

-ディシプリンド・アジャイル・デリバリー エンタープライズ・アジャイル実践ガイド-

著 : Scott W. Ambler、Mark Lines

首都圏における技術者調達状況（人材不足や単価高騰）や、コミュニケーションツールの発展、
インフォコム機能子会社の存在等を総合的に判断して、、、、

と言うか、うまく行くか分らんけど、とりあえず**チャレンジ**してみよう！！

インフォコム初?の「エンタープライズアジャイル × ニアショア」プロジェクトがスタート

2. イントロダクション



なぜ アジャイルコーチ？

3. リモートアジャイル



まずは
キックオフ！！

3. リモートアジャイル

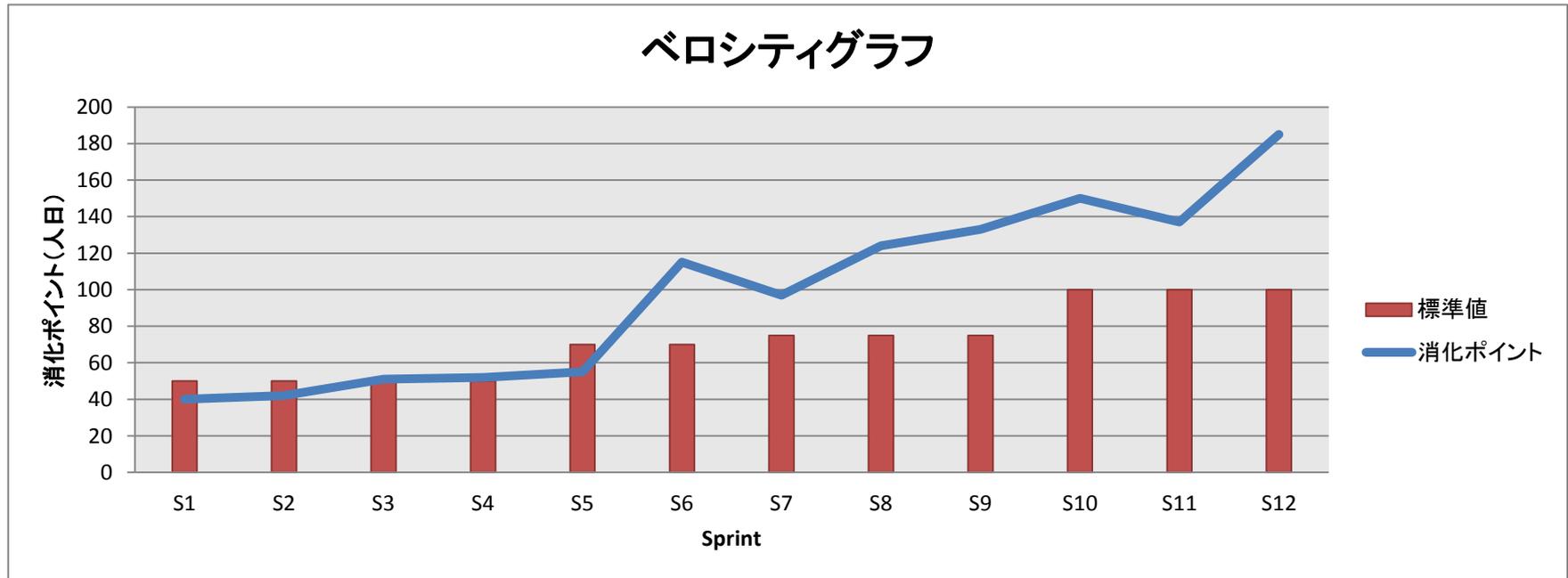


チーム ビルディング

3. リモートアジャイル (チームの成長)



■ 成長を示す一例：Sprint毎の生産性ベロシティグラフ



4. まとめ



経験してみて感じた
インフォコムにとっての
アジャイルとは？

4. まとめ



アジャイルコーチの立場で見た 今回のアジャイル

5. 質疑応答



何なりとご質問ください。

可能な限り、生々しくお答えします。



最後に告知

本日の講演者2名とも『Agile Japan 2016小冊子』に寄稿しております。

嶋田 正彰

ニアショア型開発チームを成長させるスクラムマスターの役割
～目指したのはサーバント・リーダーシップ～

渡会 健

ニアショア先と作るチームビルド
～やってみたら「プロセスやツールよりも個人と対話を」でした～

ご一読いただけますと幸いです。

おわりに



ご清聴ありがとうございました。

本発表が、少しでも皆様のアジャイルの一助になれば幸いです。

本日の発表内容についてご質問のある方、
または、ご興味のある方は、ご連絡ください。

m.shimada@infocom.co.jp

t-watarai@ase.co.jp

